家庭園芸

"夏の施肥と水やり"

梅雨があけると本格的な炎暑がやってきます。気候によって左右されるのが植物の常、それぞれの時期時期で、生育の様子もわかり、そして管理のやり方もちがうことは当然です。暑さに弱いものは半日陰などで管理することになりますが、アザレア、プリムラ類、クンシランなどは風通しのよい涼しいところで保つようにします。

一般の鉢物、樹木も性質に応じて管理してゆきますが、施肥については、真夏はひかえ目に、気温の下がる秋まで待つようにした方が安全です。とくに、花をつけ果実をならせるものは、大部分はこの夏の間に大切な花の元ができます。この時にあまりチッソ質の肥料が効き過ぎますと、枝葉ばかり繁って花芽ができない場合があります。同様に大切なのが水やりですが、素焼鉢では水分の蒸散の半分は鉢の側面から、あとの半分は鉢の土面(二〇%)と植物体(三〇%)からといわれています。水分の蒸散と同時に熱も奪ってゆきます。水やりは植物に水を与えるだけでなく、根の部分の温度を下げてやるという意味でも大切です。

ご相談は 園芸センター(☎86―1034)へ。月曜日は休園です。(月曜が祝日のときは火曜日休園)

高齢者事業団

ダブル選挙に大活躍

投票箱44コを製作

先程行われた衆・参両院ダブル選挙で、高齢者事業団の会員が、投票箱の作成などで大活躍。選挙のスムーズな運営に一役買って、関係者からおおいに感謝されました。

投票箱を製作中の事業団の会員

各種仕事を受付中

お年寄りの生きがいと働く場を得るための高齢者事業団(野口市弥会長)は発足してちょうど一年たちました。その間、まじめ・確実・ていねいな仕事振りが買われ、いまでは顧客も付くなど、一定の評価を得るまでに育ちました。

ところで、今回の選挙は、突然の衆議院解散で四つの投票が同時に行われることになりました。市選管では、一投票区一コ分しか投票箱がなかったため、全国に二、三しかないという投票箱メーカーに急いで発注しましたが、メーカーに全国から注文が殺到したため、十コしか投票箱を確保できませんでした。

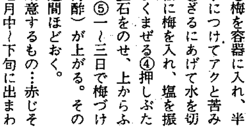
困った選管は、同事業団に投票箱の製作を頼んだところ、心良く応じてもらえました。

作業は、建具師と大工さん六人の事業団会員が受け持ち十五日間をかけて四十コを製作し、期限までに無事選管に納入しました。また、この話を聞きつけた亀田町選管も四コを発注してきました。

納入された投票箱は、投票日に投票所で市民の皆さんにお目見えしましたが、厚さ三ミリの化粧合板製で、なかなかの出来栄えでした。四十四コの投票箱は十分その役目を果し、問題になったのは一つもありませんでした。

そのほか同事業団では、目かくし百五十コを製作、五万枚の投票所入場券の筆耕、立会演説会の周知用ポスター三百枚の掲示・撤去、保管倉庫の清掃―などで大活躍し、ダブル選挙で猫の手も借りたいほど忙しい選管から大いに感謝されました。

高齢者事業団では、宛名書、事務補助、屋内・外軽作業、除草、建具、大工、庭木のせん定、襖張り―などいろんな仕事を行っています。問い合わせは同事業団(☎24―八七二二)へどうぞ。



梅干しのつくり方

下漬 用意するもの…中ぐらいの大きさのよく熟した梅四キログラム、塩〇・九キログラム、かめ(ガラス瓶、ホーロー容器) 漬け方…①梅を容器に入れ、半日ほど水につけてアクと苦みを除く②ざるにあげて水を切る③容器に梅を入れ、塩を振り込みよくまぜる④押しぶたをして重石をのせ、上からふたをする⑤一~三日で梅づけ液(白梅酢)が上がる。そのまま二週間ほどおく。

本漬 用意するもの…赤じその葉(七月中~下旬に出まわる)四百グラム、塩二~四百グラム。漬け方…①しその葉をよく洗って水気を切り、少量の塩を振りかけて、ボールやすりばちの中でよくもむ。このとき出たアク汁は捨てる②下漬した梅の白梅酢を出して半量は白梅酢として別の瓶に残し、半量でしその葉をもむと色が赤くなる③下漬の梅を別のかめかビンに移し、しその葉と汁を上からかけてふたをし、軽く重石をする。

土用干し 土用のころ、すだれまたはざるの上に梅をのせ、二~三日太陽にあてて干します。

仕上げ 梅酢の入った容器に梅をもどして七~十日ほどおき、梅が梅酢を吸収してちょうどよい肉質になったら、梅酢を底のほうに少し残して出し、そのまま密閉して保存を。梅酢はしょうがなどを漬けるのに利用を。梅干しが赤く着色するのは、しその中のシソニンという色素が酸性で赤くかわるためです。しその葉を使わない漬け方もあります。この場合は下漬のまま土用までおき、土用干しをします。梅をざるなどの上に並べて、三日三晩、日光と夜露にあてて干し、もとのつけ汁にもどして保存します。

お気軽にどうぞ 心配ごと相談所

家庭のこと、財産のこと、子供のこと……いろんなことで悩みの方のために、市社会福祉協議会では心配ごと相談所を開いています。困った事が起きたら、いつでもお気軽にご利用ください。

場所 ①東心配ごと相談所…市社会福祉センター内(八千代一、☎43―四三六六)、②西心配ごと相談所…日和山福祉作業所(四ツ屋町、☎22―五三七一)

相談時間 平日…午前九時~午後四時、土曜日…午前九時~正午

弁護士相談 東会場…毎月第一・三土曜日午後一時~四時 西会場…毎月第二・四土曜日午後一時~四時

交通事故相談

相談日 日曜・祭日を除く毎日

時間 平日は午前八時半~午後五時、土曜日は正午まで

場所 市中央公民館内、市民相談案内

毎週木曜日午後には弁護士による相談を行っています。(予約制)

市民マラソン大会結果

男子

25歳以下(10キロ) ①根立雅明②佐藤浩③高橋信一、26歳~30歳(10キロ) ①鈴木常夫②駒形道典③五十嵐悟、31歳~35歳(10キロ) ①浜端俊行②太田寛③渡辺豊三郎、36歳~40歳 ①古俣正治②大桃實③渡辺政高 41歳~45歳(5キロ) ①福田松吉②蒲沢脩③岩富登 46歳~50歳(5キロ) ①佐藤功②佐藤尚道③本間喜八郎 51歳~55歳(5キロ) ①清水亮②栗山利助③渡辺清助 56歳~60歳(3キロ) ①伊野留蔵②鐵富春雄③長島広次 61歳~65歳(3キロ) ①岡本信吾②今井操③稲田元 66歳以上(3キロ) ①西野留藤

女子

25歳以下(2キロ) ①渡辺和美 26歳以上(2キロ) ①波田伸江②小野イチ子③根立律子

緑の中で部活動

~沼垂小学校~

ぼくたちの沼垂小学校は百八年の歴史があり、新潟市で最も古い学校の一つです。児童数は千五百人で大きな学校です。

校庭には、松、いちょう、ヒマラヤシーダなどの木がたくさんあります。校舎の周りにもたくさんの木があり緑に囲まれて、とてもいい気持ちで勉強できます。どこの学校にもないほど中庭は広く佐渡ヶ島の形をした池やいろんな木がいっぱい植えてあり、めずらしい野鳥もたくさん飛んできます。五月や十月には、すばらしい新緑と紅葉が、中庭をつつみます。

クラブ活動や部活動がさかんで、器楽部は去年全国大会で金賞と毎日新聞社賞を取り、合唱部では、下越地区大会のNHKコンクールで最優秀賞を取りました。野球部は阿賀地区大会で優勝しました。バレー部も少女バレー大会で連続優勝しました。このように部活動は、各種の大会に出場し、大へんいい成績を上げています。

山田正博(六年六組)

メモ 鏡ヶ岡五―五、明治六年創立、児童数千四百八十六人、真柄恒也校長

器楽部の練習風景

団体・グループ調査にご協力を!

市では、社会教育活動を進めるための資料とし、また現在行われている社会教育活動を広く紹介していくために団体・グループ名簿を作成することになりました。

すでに社会教育関係施設(公民館、青年の家、音楽文化会館等)を通じて調査が進められていますが、施設等に登録されていない団体、グループは下記の事項について市社会教育課成人教育係(上大川前通八、☎25―1000)までお知らせ下さい。なお、お知らせ下さった団体グループには、団体、サークル名簿をさしあげます。

①団体・グループの名称
②代表者の氏名・住所・電話番号

第7回石山地区野球大会

期間 8月3日~8月10日
日程 8月3日…午前7時半より開会式 8月4~9日午前5時半~7時(試合) 8月10日午前7時半~午後零時半(準決勝、決勝)
参加資格 石山地区(石山中、東石山中学校区)に居住する市民のチームまたは石山地区内の職場チーム
参加料 1チーム 3,500円(申込時納入)
申し込み 7月21日午後5時までに①田中石油(☎86―6151) ②石山スポーツ(☎77―1230)③石山地区公民館(☎86―5631)のいずれかへ。
抽選会 7月26日午後1時半から石山地区公民館で、メンバー表は必ず提出のこと。
その他 くわしくは抽選会で説明

新潟市身体障害者補装具適合検査会

市障害者福祉協会連合会では、身体障害者の補装具(義手義足、補聴器、盲人安全つえ)の適合検査会を行います。専門の技術員が検査を行い小修理も含めてご相談に応じます。お気軽にご相談下さい。

日時 7月20日午後1時~4時
会場 市社会福祉センター(八千代1)
問い合わせ 市身体障害者福祉協会連合会(近江360 三膳三代次方 ☎83―1989)へ

屋外広告物講習会

日時 7月29日午前10時~午後5時
会場 県土地改良会館(川岸町1)
申し込み 7月22日までに県都市計画課へ

労金「趣味の教室」

期間 9月~12月の月1回
会場 労働金庫本店ホール
対象 女性
定員 各種目30人(先着順)
内容 ◇七宝焼(第2日曜日午後1時~3時半 ◇きもの着付(第4日曜日午後1時~3時半) ◇紙人形(第3日曜日午後1時~4時半)
受講料 無料(ただし、教材費実費負担)
申し込み 8月10日までに、はがきに、受講種目、曜日、郵便番号、住所、氏名電話番号を記入し、労働金庫資料センター「趣味の教室」(〒950 花園2―1―7、☎43―1995)へ